

国際関係法学科

4年間のカリキュラム

国際関係法・政治学の科目を中心に、法律学や語学など様々な科目を履修することができます。

専攻科目	導入科目	法律学の基礎 民法入門	刑事法入門 手続法入門	国際関係法入門 続・法律学の基礎			
	国際関係法科目A 基本科目	国際法Ⅰ 国際法Ⅱ 国際組織法	国際紛争解決法 国際関係私法概論 国際法Ⅰ(総論・家族法)	国際私法Ⅱ(財産法) 国際協力論 国際民事手続法 国際取引法			
	国際関係法科目B 発展科目	国際人権法 国際環境法 海洋法	外国法Ⅰ～Ⅵ 国際知的財産法 国際取引法発展 国際経済法	模擬国際裁判			
	政治学科目	政治学原論 国際関係史 国際政治学	国際政治経済論 平和研究 政治史	日本政治論 比較政治学 地域研究Ⅰ(アジア太平洋)	地域研究Ⅱ(アメリカ) 地域研究Ⅱ(ヨーロッパ) 社会科学総合講座 地方自治論	政治思想史 国際開発論	
	基本法律科目	憲法Ⅰ(総論・統治機構) 憲法Ⅱ(基本的人権) 司法制度論 民法(総則)	民法(物権) 民法(債権総論) 民法(契約法) 民法(不法行為等)	行政法総論 刑法Ⅰ(総論) 刑法Ⅱ(各論) 会社法Ⅰ(企業組織法)	会社法Ⅱ(企業組織法) 民事手続法Ⅰ(判決手続) 行政救済法 民事手続法(刑事訴訟法)	刑事政策 法哲学Ⅰ 法哲学Ⅱ 法制史	法社会学
	基礎・発展法律科目	個別的労使関係法 団体的労使関係法 民法(親族・相続)	経済法 企業取引法Ⅰ(商法総則) 企業取引法Ⅱ(商取引法)	企業取引法Ⅲ(保険法・海商法) 社会保障法 地方自治法	租税法 租税手続法 民事手続法(民事執行・保全法)	民事手続法Ⅲ(倒産処理法) 少年法 金融法Ⅰ(企業法経済法)	金融法Ⅱ(金融商品取引法) 知的財産法(概論) 知的財産法(応用) 特別刑罰
	専門語学科目	英書講読Ⅰ～Ⅳ 専門外国語ⅠA(ドイツ) 専門外国語ⅠB(ドイツ) 専門外国語ⅡA(フランス) 専門外国語ⅡB(フランス) 専門外国語ⅢA(ロシア) 専門外国語ⅢB(ロシア) 専門外国語ⅣA(中国) 専門外国語ⅣB(中国) 専門外国語ⅤA(韓国) 専門外国語ⅤB(韓国) 海外外国語研修Ⅰ・Ⅱ					
演習・実務関連科目	◎基礎演習 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅳ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 弁護士実務からみた法学 ▲応用法律学(法的思考の基礎) ▲応用法律学(刑事訴訟法) ▲応用法律学(憲法) ▲応用法律学(民法) ▲応用法律学(行政法) ▲応用法律学(商法) ▲応用法律学(刑法) ▲応用法律学(民事訴訟法)						
関連科目	「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」などの経済学部科目、「経営学」や「会計学」などの商学部科目に限らず、その他の学部学科の専攻科目から数多くの科目を選択できます。						

※その他、共通科目があります。P.36～37参照

◎：必修 ▲は法務コース登録学生のみ履修可

ZOOM IN カリキュラム

国際環境法

今日の環境問題は、国境を越えて国際社会が協力して取り組むべき最も重要な課題です。ですが、国際社会は国益を優先する主権国家が併存する分権社会であり、協力関係の構築は容易ではありません。国際環境法の授業では、伝統的な国際法の枠組みの中で、どのように国際社会が国益のしがらみを乗り越えて環境問題に対処するか、その限界は何かを、個々の国際法規則と国際裁判例から学びます。

政治史

江戸時代から現在に至るまでに、様々な社会的かつ経済的な背景の前に、政治制度と政党がどのように変化してきたかについて学修します。社会的な課題が生じてからそれに対処する法律ができるまでの政治過程について、多くの実例を検証しながら考えます。

TOPIC

人の痛みを知る法教育
～九州で国際の狭間に置かれる人々に寄り添う～

本プログラムは、法学を机上の空論にしないために、現実で苦しんでいる「人の痛みを知る法教育」を提供します。特に国際関係法の基礎となる多文化共生の観点から、地元の「九州で国際の狭間に置かれる人々に寄り添う」心を養います。まずは学生自身が長崎・大村入国管理センターに足を運び、苦しみを訴える声に耳を傾けることの意義を体験します。そして、現場で味わった雰囲気を取り入れながら、入国管理体験シミュレーションを作成・実施して、未来を担う次の世代へとバトンをつなぎます。



教員紹介

法学系	小寺 智史 教授 [国際法、国際経済法]
	佐古田 彰 教授 [国際法、国際環境法]
	多田 望 教授 [国際取引法、国際民事手続法]
	高柴 優貴子 教授 [国際法、国際紛争解決法]
	釜谷 真史 准教授 [国際私法(財産法、家族法)]
	根岸 陽太 准教授 [国際法、国際人権法]
政治系	野田 順康 教授 [国際協力論、国際開発論]
	鶴飼 健史 教授 [政治学、比較政治学]
	山本 健 教授 [国際政治学、外交史]
	田村 元彦 准教授 [行政学、地方自治論] C.G. ウィンクラー 准教授 [政治学、政治]

主なゼミテーマ

- 現代社会と政治学の諸課題
- 国際家族法をディベートで学ぼう！
- 映画を通じて考える、ストーリーとしての国際法
- 社会と映像とメディアを読み解くために入門編
- ディベートで国際取引法・国際民事手続法・国際私法を学ぼう！
- Current International Topics

PICK UP (ゼミの学び)



ゼミテーマ | ディベートで国際家族法を学ぼう！
釜谷 真史 准教授

国際家族法を毎週論議し、国際的な法の理解と対話力・協働力を身に付ける。

人やモノが国境を越えて動く現代社会では、法も国際的な視野で理解することが重要です。本ゼミでは、同性婚や代理出産など国際化の中で家族を取り巻くテーマをディベート形式で学修。「人と話す、共同作業をする」を重視し、準備の週にもミニディベートを設けています。上級生と縦割りチームで臨む法律討論会など年次を超えた交流も活発で、特に就職活動後の上級生やOB・OGとの交わりは、進路の面でも学生の大きな力になっています。



STUDENT'S VOICE

法的な視点、専門的な知識、グローバルな考え方を身に付けたいなら西南学院大学へ。

宮崎 蓮 法学部国際関係法学科 3年
(福岡県・福岡県立武蔵台高等学校出身)

国際法に興味があり、かつ英語もしっかりと学べる学科に進学したいと考え入学しました。国際関係法学において、全国トップレベルの講師陣が教鞭を執る西南学院大学の授業では、相続問題など専門的かつ複雑な事柄でも身近な話題と関連付けて理解のしやすい講義が行われます。さまざまな法が身近に存在していることを知り、より関心が高まりました。国際法の成立背景や、実際にある判例を学ぶことで様々な物事を国際的な視点で捉えるようになりました。また、英語の勉強にも力を入れており、海外留学にチャレンジしようと思っています。西南学院大学には、学修に最適な環境が整っており、将来に向けて自分のスキルアップのため日々励んでいます。



FAQs

Q 西南学院大学の国際関係法学科は、どのような学科ですか？

ANSWER

国際関係法学科のある大学は全国でも少なく、東京の大学以外では、本学だけです。本学科の国際関係法分野の専任教員数も授業科目数も、全国でトップクラスです。地方にいて国際社会を見据える力を培います。

Q 日本国内の法律学の勉強はできますか？

ANSWER

もちろんできます。むしろ、本学科では、国内の法律学の勉強を基礎として、より応用的に国際関係法学や政治学の勉強をするので、国内の法律学の科目もしっかりと学んでもらいます。

神学部

外国語学部

商学部

経済学部

法学部

人間科学部

国際文化学部

—